

MUSIC DESIGN SYMPHONIC ORCHESTRA & ELECTRO CARNIVAL 2020

2021/2/23(祝) start17:00 洗足学園前田ホール

指揮：山下 康介 Kosuke Yamashita

指揮：岩岡 一志 Kazushi Iwaoka

PROGRAM

Op. 未来への光/ 宮川 当(学部1年)

The Star-Crossed Lovers/ 高田 乃愛(学部2年)

明日への願い/ 大永 朱美(学部4年)

Battle for the future/ 内藤 雅人(学部3年)

Reversal Chase/ 橋口 幸寿(学部3年)

花火が上がらない夏だとしても/ 小林 真悠(院2年)

Betelgeuse/ 鈴木 美羽(学部2年)

=== ボカロプロジェクト ===

願い星/ 伊藤 純平(学部4年)

Future Calling/ ワカバ(修了生)

=====

eureka/ 塚田 凜(学部4年)

TRAVEL/ 高 歓(院2年)

淵源の地/ 山田 未織(学部2年)

糸を燃る/ 安田 有希(学部4年)

The mystery of life/ 吉野 小太郎(学部4年)

未知の旅へ/ 張 書豪(院1年)

Ed. 「花より男子」よりメインテーマ/ 山下 康介

演奏：洗足学園音楽大学ニューフィルハーモニック管弦楽団

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

PROGRAM NOTE

1. 未来への光/宮川 当(学部1年)

未来というのは見えないものだからこそ、不安だったり逆に希望だったり、そんな不思議な感じを曲で表現してみました。

2. The Star-Crossed Lovers/高田乃愛(学部2年)

The Star-Crossed Lovers とは、不幸な星めぐりで添いとげることのできない恋人たちのことです。最初はロミオとジュリエットをもとに曲を書こうと考えていたのですが、話を読み込んでいくうちにその辛く苦しい運命をも覆してしまうような強い愛を音にしたいと思い、この曲が完成しました。この作品を通し、運命とは宿命ではなく、自分で選びとっていくもので、未来はいかようにも変えることができる、というメッセージを皆さんに届けられたらと思います。

Keyboard:鈴木 美羽(学部2年)

3. 明日への願い/大永朱美(学部4年)

ざわざわとした静けさから始まったイントロの後に、オーボエが弦のピッチカートの伴奏でメインテーマを歌います。

その後、このテーマは雰囲気を変え何度か出てきますので、違いを楽しんでいただけたらと思います。

最初は『明るい明日になってほしい』という、ちょっとした小さな願いだったものが、自分の中で大きな強い願いだったと気が付き、最後は『実現させよう』という強い意志を持った終わり方で締めくくっています。

4. Battle for the future/内藤雅人(学部3年)

未来といえば、明るいものでありたいと多くの人が願うと思います。ですが、未来へ突き進む中で、不安なことや困難なことに向き合う時が、人生の中で必ずあります。何を思って未来へ進むのか、何の為に未来へ行くのか。様々な困難に立ち向かい、広い世界へ冒険し戦いに行く様子を今回の作品で表しました。未来に向けた思いと先に何が待ち受けているのか、ぜひお楽しみください。

Piano:杉浦 秀耀(学部4年)

5. Reversal Chase/橋口幸寿(学部3年)

未来は気持ち一つで「希望」になり、そして「絶望」になります。

この曲は、そんな未来の二面性がテーマとなっています。

冒頭は晴れ晴れしく、疾走感と浮遊感のある「希望」を表現しています。

そして突如として不穏な世界観へ突入し、荒れ狂う「絶望」が姿を現します。

未来という不確実なものに翻弄されながらも、最終的には自分自身を信じて前を向きたいという想いを込めました。

6. 花火が上がらない夏だとしても/小林真悠(院2年)

2020年の夏は「花火が上がらない夏」でした。

私が住んでいる江戸川区では、毎年花火大会が行われます。夏になると家族や友人と花火を見るのが恒例でした。しかし、今年の夏は感染症拡大防止のために多くの花火大会が中止となりました。残念な思いをした人もたくさんいたと思います。

世界中が不安な中、それでも前向きな気持ちであってほしいと願いこの曲を作りました。

また、みんなで花火を見られる「未来」を夢見て。

7. Betelgeuse/鈴木美羽(学部2年)

ベテルギウスはオリオン座をつくる星の一つで、自分の中の力を生かせるよう希望に向かう道へと導く星とされています。そんな「未来」に導く力強さと美しさを表現しました。また昔から人々が星を眺め想いを馳せてきた、時を超える神秘や壮大さもイメージしています。星も人も変化することを曲の展開で表し、変わらない人々の想いを特定の旋律の多用で表しています。この曲に込めたベテルギウスの強さ、美しさ、神秘を感じていただけたら幸いです。

8. 願い星/伊藤純平(学部4年)

人は悩みや後悔を抱えながらも、未来に向かって一歩ずつ歩き出さなければなりません。

そんな前を向いて頑張ろうとしている人の背中をそっと押してあげるような楽曲を作りました。

楽曲は1年生の頃に一度完成させていたものを、今回の演奏会のオファーを頂いたことをきっかけにリアレンジしました。

生のオーケストラとの共演によって、ボーカロイドの魅力や可能性を感じていただけたら嬉しいです。

9. Future Calling/ワカバ(修了生)

今年のテーマは「未来」ということで、自分の理想の作品が「早くおいでよ」と未来から手を差し伸べてくれる曲を書きました。具体的には、明るく綺麗なサウンドのシンセサイザーを多用した4つ打ち EDM です。また、理想の擬人化として特定の個人ではない VOCALOID を歌手に採用することで「未来からの呼び声」というタイトルと歌詞の説得力も増したと感じています。

この曲が、未来に踏み出そうとしている誰かの背中を押せたなら嬉しいです。

10. Eureka/塚田凜(学部4年)

eureka はギリシャ語に由来する感嘆詞で、何かを発見・発明したことを喜ぶときに使われる言葉です。この楽曲は、苦難の先に訪れるそんな未来をコンセプトにしています。

RPG ゲームの中ボスを彷彿とさせる仕上がりになりました。5拍子の一風変わった雰囲気も楽しんでいただければ幸いです。

11. Travel/高歆(院2年)

私は「風の旅人」というゲームに感銘を受けました。

内容は一人で終着点まで行くことですが、私は旅の孤独、人との出会いの美しさ、一期一会の大切さを感じました。

こんな気持ちは、これからの人生にも感じられるでしょう。

人生を旅、そして私たちを旅人にたとえて、

昨日から今日、今日から明日へと決してとどまることのない旅をしているのです。

12. 淵源の地/山田未織(学部2年)

この曲は、遠い未来を想像し、頭に浮かんできた情景を膨らませて作り上げました。現実世界というよりは、誰かが作った未来の物語、といった感じになりました。溢れた自然に飲み込まれた世界。それぞれの楽器や旋律に、鳥の声や風などの自然の音を乗せています。鳥たちの会話から始まり、この世界を巡回していくイメージで曲が紡がれていくので、雰囲気など、お楽しみいただけただら嬉しく思います。

13. 糸を撚る/安田有希(学部4年)

この楽曲は、無数の糸が撚り合わせられていく様子を時間の流れと重ね、過去から今に至る歴史、今を精一杯生きる人々の姿、未来への祈りを表現しました。タイトルの糸とはすなわち「縁」のことです。縁は人との縁とは限りません。ときに物との縁、場所との縁、音楽との縁でもあるでしょう。糸を撚った先が、全ての人々にとって幸福なものであれば良いと願うばかりなのです。

14. The Mystery Of Life/吉野小太郎(学部4年)

コンセプトは「理想」と「現実」です。

未来に憧れを抱くも辛い現実と直面し、理想と現実が交わり葛藤しながらも前に進んで行く様子を表現しました。

「理想」と「現実」にはそれぞれテーマを設定しており最初は「理想」のテーマから出てくるのですが、途中から「現実」のテーマが少しずつ現れはじめ曲の中盤には「現実」のテーマがメインに出てきます。

15. 未知の旅へ/張書豪(院1年)

この曲は分かりやすい「イントロ—A—B—A'」の形式です。

「前の道が辛くても、胸を張って、美しい未来に、進もう」という気持ちで書きました。

聞く人に印象を残るため、覚えやすいメインメロディーを考えました。

その上、AとA'は同じ調性で繰り返し、更にメインメロディーを強調しました。

対旋律やオーケストレーションなどに色々工夫しました。

16. 「花より男子」よりメインテーマ/山下廉介

2005年10月にTBS系金曜22時に放送されたTVドラマ「花より男子」（はなよりだんご）のメインテーマ曲。

番組は同年クールNo.1のヒットとなり、続編「花より男子リターンズ」や映画「花より男子F（ファイナル）」も製作された。

出演は、井上真央、松本潤、小栗旬、松田翔太、阿部力ほか。

私にとって、いわゆるプライムタイムのドラマ枠の音楽を手掛けたのは、この作品が初めてで、非常に思い出深い作品である。

このメインテーマのメロディは、監督とのdemoのやりとりにおいて、すぐにOKをもらえず、ギリギリまで再考を重ねた末に出来上がった曲である。

オリジナルは、そんなに大きな編成での録音ではなく、エレキギターのサウンドも印象的であるが、今回はギターなしのフルオーケストラのために新たに編曲し、サイズこそ短くまとめているが、当時のアレンジをなるべくそのまま生かすように心がけた。このスコアは今回が初演である。この作品によって、私の「未来」が大きく変わったと言っても過言ではないだろう。